



復興まちづくり通信

一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

新観光交流拠点「さんさん商店街」起工式

南三陸町の観光振興や交流の拠点として期待される新商店街の起工式が7月6日、復興市街地で行われました。新商店街は木造平屋建て6棟。仮設商店街の23店に、新規出店の産地直売所やコンビニ、飲食店など5店が入る予定で、フードコートも設置されます。周辺には、BRT駅とバスターミナルが整備される計画です。完成は来年1月末を予定し、同3月3日の開業を目指しています。



(南東の2棟が今回入居開始の建物です。)

志津川東公営住宅56戸 9月引き渡し

南三陸町が志津川東地区に整備を進めている復興公営住宅のうち、西工区の集合住宅2棟が完成しました。7月31日に内覧会が行われており、9月上旬に入居が始まります。同住宅は4階建て2棟で、56戸が整備されました。

西工区の残る集合住宅6棟(109戸)と戸建て公営住宅4戸は、今年12月末の完成予定で、来年1月の入居が予定されています。集会所と中央広場も今年の12月末の完成が見込まれています。

南三陸産材活用の「板倉の家」上棟

南三陸町のスギを活用した住宅建設を推進する「南三陸木の家づくり互助会」(小野寺寛会長)による、7棟目の施工例となる本格的な「板倉の家」の新築工事が柘沢団地で始まり、7月30日に上棟式が行われました。鬼門に向けて破魔矢(はまや)を立て、祝いの五色の旗を飾り、餅まきをして、伐採から製材、刻み方から建て方を経て無事上棟した喜びを、職人さんや近隣の人々と分かち合いました。9月中旬に、現地見学会が行われる予定です。



(上棟式での餅まきの様子=歌津地区柘沢団地)

「たらすもちパーティー」で楽しく交流 ～戸倉・伊里前の公営住宅でお茶会～

震災で被災した住民が暮らす町営戸倉復興住宅（80戸）と町営伊里前復興住宅（60戸）で、復興みなさんが主催する「椿のお茶会」が開かれました。7月4日に戸倉公営住宅集会所で開かれたお茶会には、入居者14人が参加。自分たちで昔懐かしい郷土のおやつ「たらすもち」作りに挑戦。シソやクルミ、ゴマや黒糖を使って思い思いの味に仕上げ、椿茶をいただきながら味わいました。食べ比べをするなど、和やかな雰囲気のお茶会でした。



（椿のお茶会の様子＝戸倉復興公営住宅集会所）



（自治会設立のための会議の様子＝伊里前復興住宅）

復興住宅で自治組織づくり進む

町営伊里前復興住宅と戸倉復興住宅で、自治会づくりが始動しています。7月10日には、伊里前住宅の集会所で自治会設立のための会議が開かれ、入居者31人が出席。自治会の名称、規約の制定などについて協議したほか、会長、副会長、会計、班長など役員を選出が行われました。今後は役員を中心に、規約や活動計画や、収支予算案などについて協議し、正式に自治会を発足させることを決めました。同様の会議は7月3日に戸倉でも開催されました。

伊里前復興公営住宅で「流しそうめん」 ～入居者ら楽しむ～

町営伊里前復興住宅の入居者が7月31日、同住宅の集会所で、流しそうめんを楽しみました。ドコモショップ古川中央店と復興みなさんが共催したもので、住民11人が参加。初めて体験される方が大半でしたが、長さ6mほどの青竹に次々と流される冷たいそうめんを堪能しました。

この日のイベントには社協のボランティアセンターの職員や復興住宅に常駐するLSA（生活相談員）さんにもご協力をいただきました。



（流しそうめんを楽しむ公営住宅の入居者たち）

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

公益財団法人トヨタ財団 2015年度国内助成プログラム（東日本大震災特定課題）助成事業